

---

---

コンクリートを使わない基礎

Re | サントベース

～山間部・屋上でのモデルケース～

---

---

# Re | サンドペース

工期  
短縮

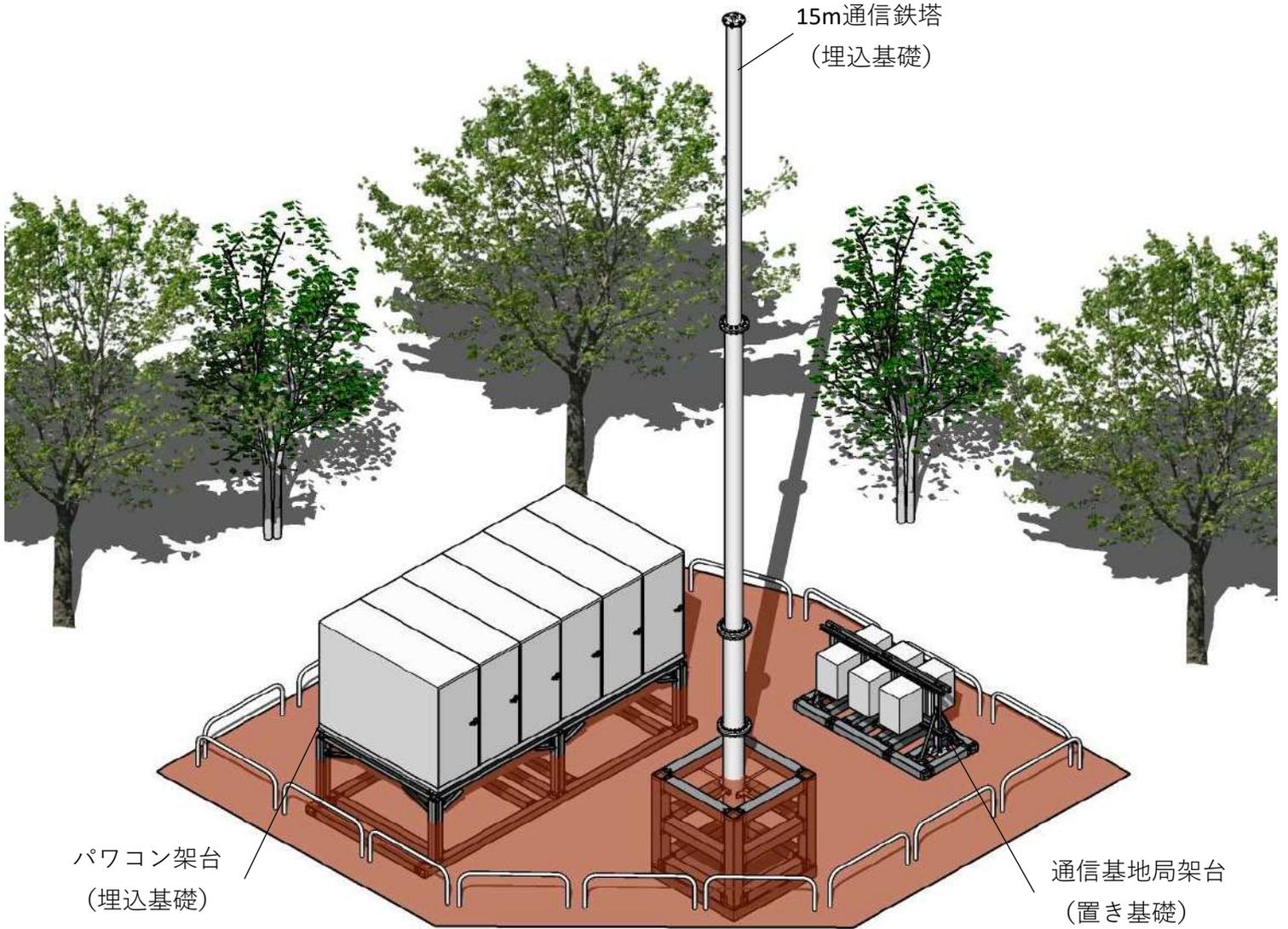
環境に  
優しい

コスト  
削減



CO<sub>2</sub>  
50%以上  
削減

※環境省 算定方法からコンクリート基礎と比較



山間部の通信基地局イメージ図

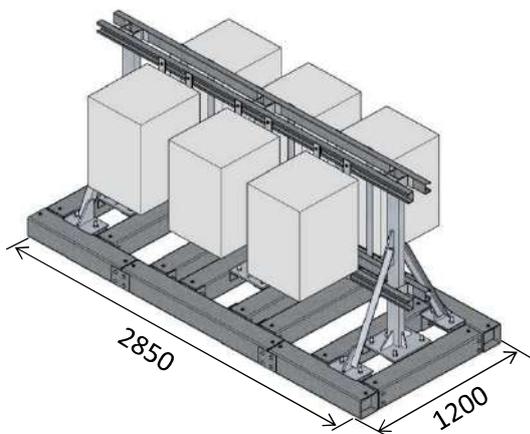
## 基地局でのReサンドベースのメリット

コンクリート・水を使わない

短納期の施工

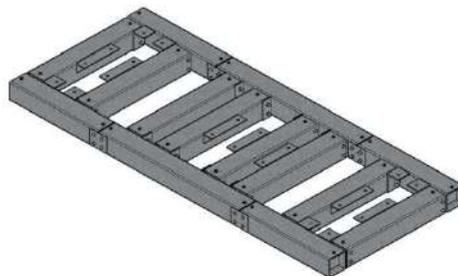
施工も容易、分解・解体も容易

## 通信基地局 架台 基礎



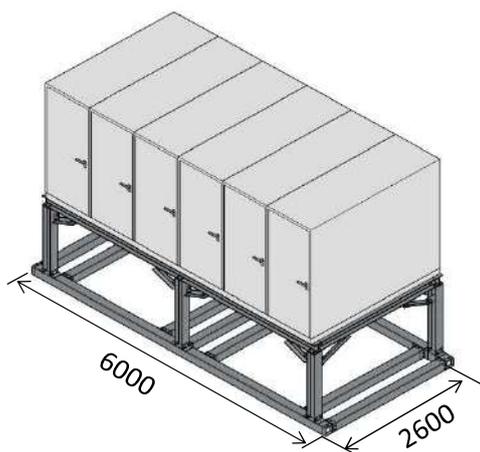
構造設計

設計基準風速： 38 m/s  
地震地域係数： 1  
水平震度： 0.3



□150x150x4.5

## パワコン架台 基礎



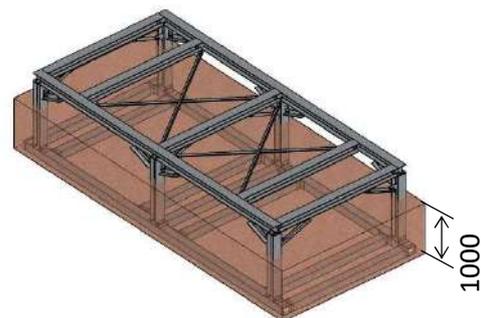
構造設計

設計基準風速： 38 m/s  
地震地域係数： 1  
水平震度： 0.3

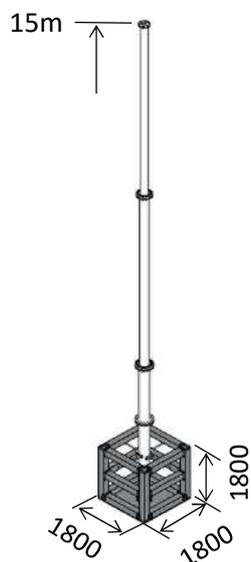
埋込後イメージ



□150x150x4.5



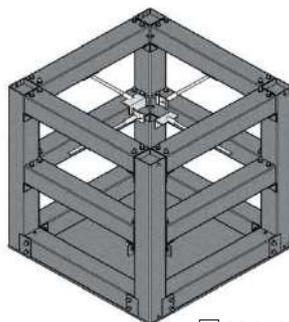
## 15m通信鉄塔 基礎



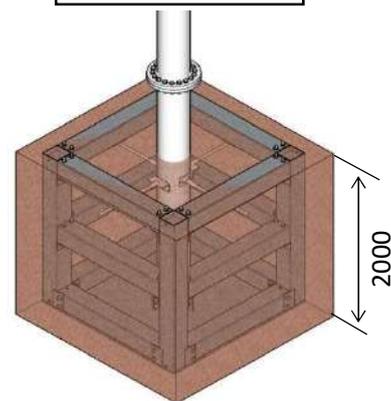
構造設計

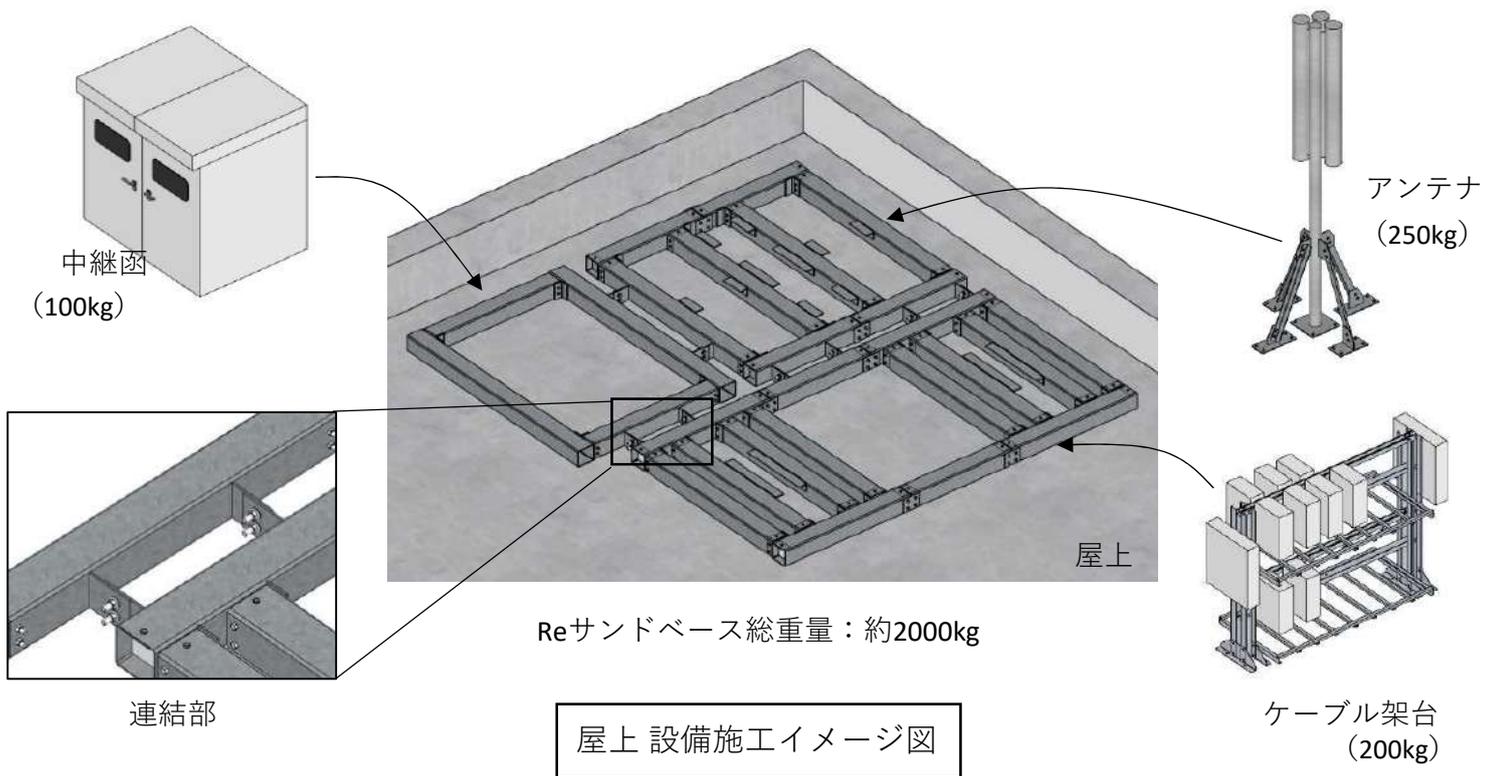
設計基準風速： 38 m/s  
地震地域係数： 1  
水平震度： 0.3

埋込後イメージ

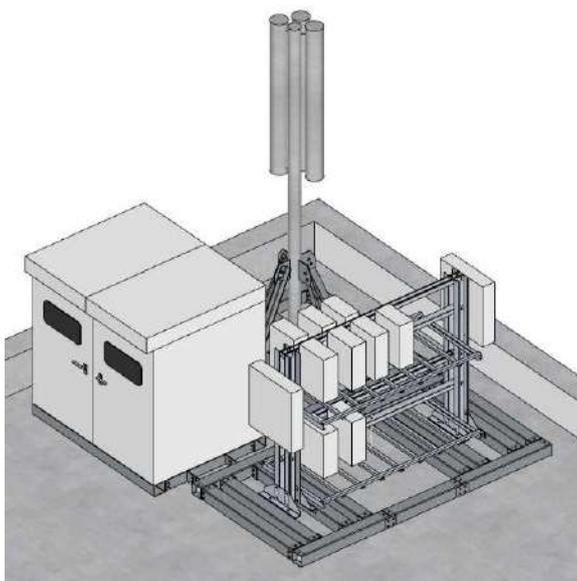


□200x200x6





## 屋上でのReサンドベースのメリット



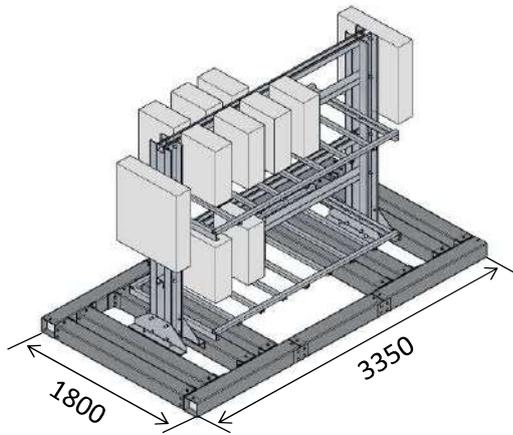
屋上 通信設備イメージ図

屋上の防水層を  
破壊せずに設置できる

地震の力を逃がす  
免震構造となり安全性を確保

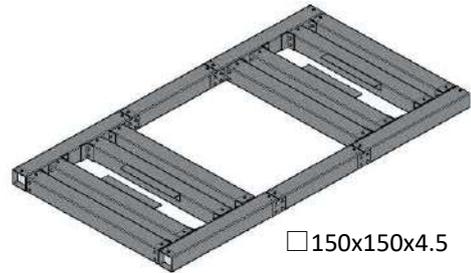
移設・撤去が容易にでき  
省エネを実現できる

## CV局 架台 基礎



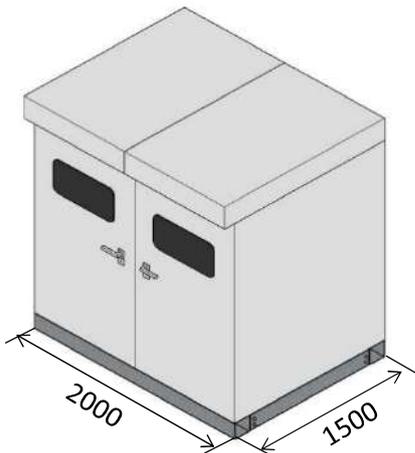
構造設計

設計基準風速：34 m/s  
地震地域係数：1  
水平震度：1



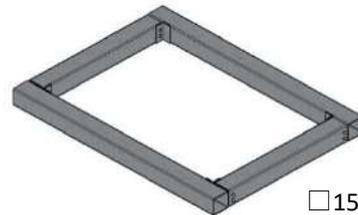
□150x150x4.5

## 中継函設備 基礎



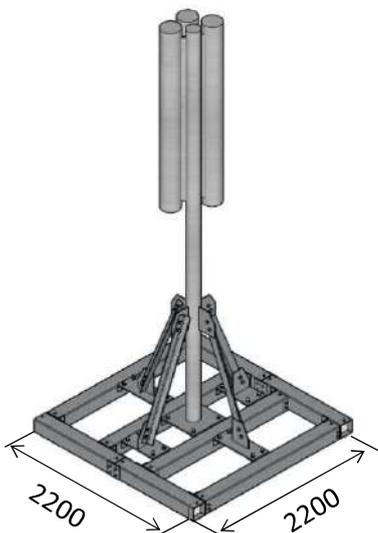
構造設計

設計基準風速：34 m/s  
地震地域係数：1  
水平震度：1



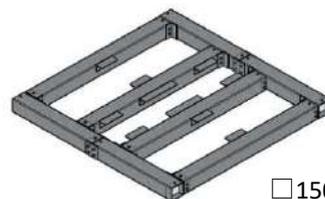
□150x150x4.5

## アンテナ設備 基礎



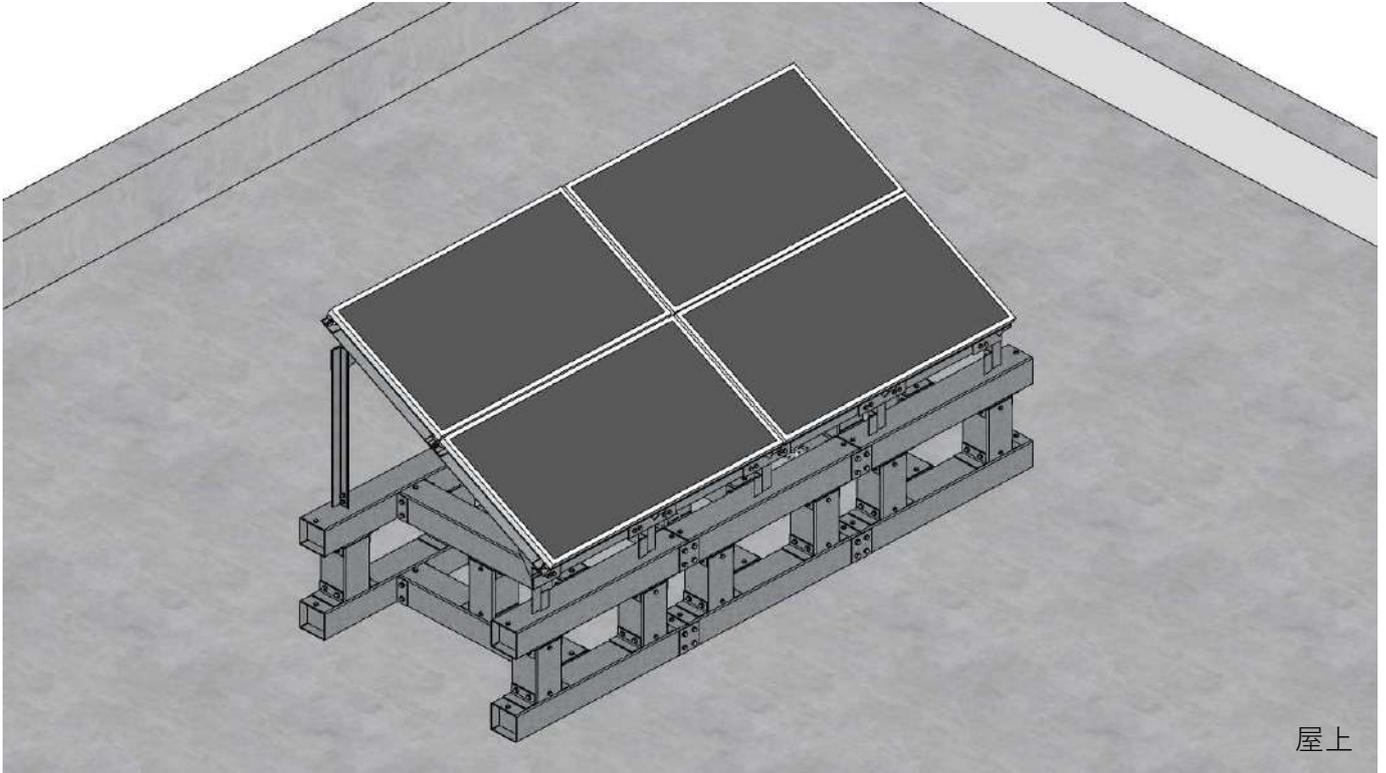
構造設計

設計基準風速：34 m/s  
地震地域係数：1  
水平震度：1



□150x150x4.5

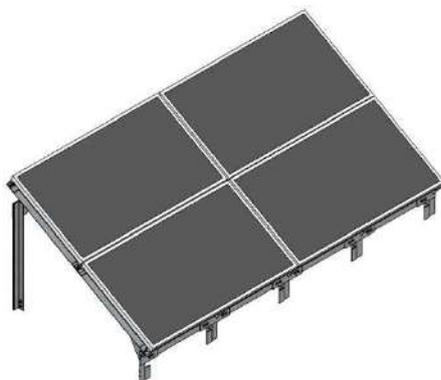
屋上でのReサンドベースの活用例 -太陽光発電-



屋上

屋上 太陽光施工イメージ図

太陽光発電設備 基礎

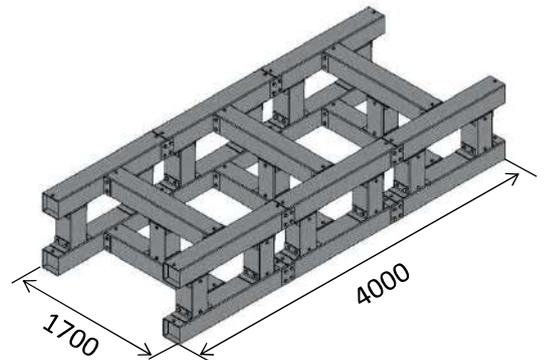


太陽光パネル+架台  
(200kg)



構造設計

設計基準風速：34 m/s  
地震地域係数：1  
水平震度：1



Reサンドベース (3000kg)